

学習指導要領		都立江戸川高校 学カスタンダード
<p>(1) ア 自然環境と歴史</p> <p>世界史へのいざない</p> <p>歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史</p> <p>日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p>	<p>[大河流域の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大河流域に形成された古代文明が、自然環境と深くかかわることによってその地域特有の生活・文化に発展したことを理解し、治水や灌漑を行い、河川を管理することが、文明の在り方に影響を与えたことを説明できる。 <p>[海洋の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁撈や交通、交易の場としての海洋が、経済や文化の交流、情報伝達を促す役割を果たしたことを説明できる。 <p>[草原の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> 内陸アジア北部にひろがる大草原において遊牧民の機動力に富む文化が形成されたことを理解し、農耕地帯との接触によって、遊牧民と農耕民の間に交流、対立等の関係が生まれたことを説明できる。 <p>[オアシスの生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> 内陸アジア南部における人々の生活や活動について、隊商による交易活動の在り方などを理解し、この地域で発展した東西交易路について説明できる。 <p>[森林の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> 人類の生活の中で森林の果たす役割を理解し、森林資源と文明の盛衰との関係について説明できる。 <p>[日本と世界の人々との交流]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本列島を訪れたり、日本列島から海外に渡ったりした使節や僧侶、商人などを通して、その時代の様子や世界との関係、交流の事跡、歴史的役割や社会的影響について説明できる。 <p>[外来の道具や技術の伝播]</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来の道具や栽培植物、技術、日本列島内の各地や身近な地域に残されている遺跡や遺物に触れ、文明を支えたものや技術などを理解し、伝播や変容を経て現在まで受け継がれていることを説明できる。 	

学習指導要領	都立江戸川高校 学カスタンダード
<p>(2) ア ユーラシアの諸文明</p> <p>世界 の 一 体 化 と 日 本</p> <p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p>	<p>[日本の文化や生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本列島各地に残る祭礼や伝説、年中行事、歳時記、文字、暦などについて理解し、その変遷の歴史を世界史的視野から説明できる。 <p>[日本に伝来した外来の宗教]</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来の宗教と日本古来の思想との関係について理解し、外来の宗教の受容の在り方や展開について説明できる。 <p>[東アジアの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、唐帝国、内陸アジア諸民族の動向について概観し、日本を含む東アジア世界の形成過程や文明の特質を説明できる。 <p>[南アジアの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリア人の移動以後の南アジアの文化、国家の発展について概観し、南アジア世界の形成過程や文明の特質を説明できる。 <p>[西アジアの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 西アジアの地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、アラブ人とイスラーム帝国の発展について概観し、西アジア世界の形成過程や文明の特質を説明できる。 <p>[ヨーロッパの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地中海世界とヨーロッパの地理的特質、ギリシア・ローマ文明、西ヨーロッパの封建社会の成立、ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向について概観し、キリスト教とヨーロッパ世界の形成過程や文明の特質を説明できる。 <p>[諸地域世界の交流]</p> <ul style="list-style-type: none"> 8世紀以降のユーラシアの海・陸のネットワークにおける諸地域世界の交流と再編が、近現代における世界の一体化につながっていく過程を説明できる。 <p>[世界の一体化とヨーロッパ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ルネサンスや宗教改革がおこった背景や、それらがヨーロッパ社会に及ぼした影響などを説明でき

学習指導要領	都立江戸川高校 学カスタンダード
<p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大航海時代以降のヨーロッパ人の海外進出の過程を理解した上で、世界的規模の商業が国際関係に与えた影響などを説明できる。 <p>[アジアの諸帝国]</p> <ul style="list-style-type: none"> 16 世紀から 18 世紀までのアジア諸地域の繁栄について説明できる。 やがてアジア諸帝国の支配体制がゆるみ、ヨーロッパ諸国の進出にともない変容したことを説明できる。 <p>[ヨーロッパの主権国家体制]</p> <ul style="list-style-type: none"> 主権国家体制の特質と形成過程を理解した上で、それが主権国家間の国際関係や人々の生活・文化に与えた影響などを説明できる。 <p>[大西洋三角貿易とアフリカ・アメリカ社会の変容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大西洋三角貿易におけるヨーロッパ内部や大陸間の経済分業体制の確立、アフリカ・アメリカ社会の変容について説明できる。 <p>[世界の一体化の動きと近世の日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ人の来航が日本の社会に及ぼした影響や、日本人の海外渡航、幕藩体制下における近隣諸国との関係など、近世における世界の中の日本の位置付けについて説明できる。 <p>[産業革命と資本主義の確立]</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業革命の技術革新、交通革命などに触れ、産業資本主義が確立するとともに、19 世紀半ばまでにイギリスの覇権が確立し、世界の構造的な一体化が進展したことを説明できる。 自由主義的風潮が広まる一方、労働運動や社会主義思想が成立した背景や、その後の社会に及ぼした影響について説明できる。 <p>[フランス革命とアメリカ諸国の独立]</p> <ul style="list-style-type: none"> 環大西洋間の諸地域に展開した政治的な動向を通して、啓蒙思想の影響を受けアメリカ合衆国と西ヨーロッパに近代民主主義社会の基礎が成立した過程を説明できる。 ラテンアメリカ諸国については、独立後の政治・

学習指導要領	都立江戸川高校 学カスタンダード
<p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本</p> <p>ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p> <p>ア 急変する人類社会</p> <p>科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p>	<p>社会の特色と欧米諸国への経済的従属や独自の文化形成を説明できる。</p> <p>[自由主義・国民主義の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制下での自由主義・国民主義の運動が高まり、19世紀後半にはイタリア・ドイツなどで国民国家が形成される一方で、東方問題など、中欧、東欧における民族間の対立を招いたことを説明できる。 <p>[アメリカ合衆国の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入、先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧の具体的な事例を挙げ、説明できる。 ・南北戦争後の産業資本家が主導した工業化の進展について説明できる。 <p>[アジア諸国の変貌]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18世紀後半から19世紀までのアジア諸国の支配体制の動揺と、ヨーロッパ諸国のアジア諸地域への進出の結果、ヨーロッパを中心とする国際的分業体制に組み込まれていったことを説明できる。 ・18世紀後半から19世紀までのアジアの諸帝国における動揺と、伝統文化の変容について説明できる。 ・アジア諸国の抵抗、近代化の動き、民族意識を形成など、社会変革へのアジアの主体的な動きについて説明できる。 <p>[日本の開国と近代化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀の世界の一体化と日本の近代化の過程を、日本と他のアジア諸国の歴史を相互に比較して説明できる。 <p>[第二次産業革命]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次産業革命に伴う産業構造の変化によって、企業や国家の巨大化など社会の変化に伴い、世界の一体化が進んだことを説明できる。 ・国家の役割が増大し、公教育が普及し国民統合が進展したことを説明できる。 <p>[国際的な移民の増加]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀後半に移民労働者が世界の労働力市場に供給されたことを、需要の背景や、交通・通信・マス

	学習指導要領	都立江戸川高校 学カスタンダード
<p>(3) 地 球 社 会 と 日 本</p>	<p>イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p>	<p>メディアの発達と関連付けて説明できる。 [大衆社会の出現] ・大量生産・大量消費社会の登場による大衆社会の成立により民主主義が進展したことを説明できる。 [帝国主義] ・欧米の帝国主義諸国が植民地獲得や勢力圏拡大の抗争を繰り広げ、一方で日本と他のアジア・アフリカ諸国の歴史を相互に比較し、各国でナショナリズムが高揚していく意義を説明できる。 [第一次世界大戦とロシア革命] ・第一次世界大戦の原因や戦時下の総力戦体制の性格、オーストリアなどの帝国の崩壊と東欧の民族自決など戦争がもたらした世界の変化を説明できる。 ・大戦中にロシアではじまった社会主義革命の過程を説明できる。 ・第一次世界大戦が日本の政治や経済などに与えた影響について説明できる。 [第一次世界大戦後の国際秩序] ・国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念や、アメリカ合衆国の国際的影響力が急増したことに着目し、第一次世界大戦後の国際社会の枠組みが大きく変化したことを説明できる。 ・アジア諸地域の民族運動の動向と、これに対する日本の対応について説明できる。 [世界恐慌とファシズムの台頭] ・世界恐慌に対するニューディール政策などの各国の対応について説明できる。またこのことが、ドイツのナチズムなどファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを説明できる。 ・東アジアにおける国際情勢について、中国をめぐる国際社会の動きと日本国内の状況を照応させながら説明できる。 [第二次世界大戦] ・戦争の過程で生じてくる米ソの対立構造が戦後の国際連合の成立や、国際政治に影響を与えたことを説明できる。 [冷戦のはじまり]</p>

学習指導要領	都立江戸川高校 学カスタンダード
<p>ウ 三つの世界と日本の動向</p> <p>第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題</p> <p>1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望</p> <p>現代世界の特徴や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>・米ソ両陣営の対立による冷戦の構図と、集団安全保障体制の強化について説明できる。また核兵器や人工衛星の開発など科学技術の発達が緊張関係を激化させたことを説明できる。</p> <p>[第三世界の台頭]</p> <p>・アジア・アフリカの植民地が解放され、第三世界として国際社会において発言権を強めたことを説明できる。一方で、国内における経済問題・民族問題が起こっていることを説明できる。</p> <p>[1960年代の世界]</p> <p>・ヴェトナム戦争、中ソ対立による米ソ両国の指導力低下に伴い、西ヨーロッパの自立をはじめ多極化が進んだことを説明できる。</p> <p>・途上国での政情不安により、途上国と先進国との間に南北問題が顕在化してきたことを説明できる。</p> <p>[市場経済のグローバル化]</p> <p>・1970年代以降の先進諸国の経済構造の転換やアジアの工業化が促進されたことによる市場経済のグローバル化の進展と功罪について説明できる。</p> <p>[冷戦の終結と社会主義体制の崩壊]</p> <p>・社会主義経済の停滞が原因となり、東欧諸国やソヴィエト連邦の政治的自由化が進行し、市場経済への移行が不可避となった結果として、冷戦の終結が促され、社会主義体制が相次いで崩壊したことを説明できる。</p> <p>[地域統合の動き]</p> <p>・EUの形成過程を踏まえ、世界各地で地域統合や地域協力を目指す動きが活発化していることを説明できる。</p> <p>[地域紛争の頻発]</p> <p>・パレスチナ紛争など世界各地で頻発している地域紛争の歴史的背景を、既習事項をふまえて説明できる。</p> <p>[地球社会の歩みと課題]</p> <p>・知識基盤社会の特徴を理解し、環境や資源・エネルギーをめぐる問題など今日的課題から、地球社会の在り方について説明できる。</p>

